

現行健康管理規程による健康診断は、定期健康診断、採用時健康診断、臨時健康診断とに分けられ、定期健康診断は一般職員については年1回、労働安全衛生規則に定めるいわゆる有害業務従事員については、年2回行うこととなっている。結核性疾患による職員の休業者が多いので、とくにこの点を重視し、健康診断の結果にもとづいて、これを第1種から第5種（第6種は結核性以外の疾患）に分け、それぞれ必要な事後の管理を実施している。たとえば第2種被管理者（ツベルクリン反応陰性者）に対するBCGの接種とツ反応追及検査、第3種被管理者（ツ反応陽転後1年以内の者）に対する精密検診と保健指導、第4・5種被管理者（要注意者および要療養者）に対する精密検診と療養の指導などがこれである。

有害業務従事員に対する年2回以上の検診は、仕事の性質あるいは作業の環境からくる、いわゆる職業病発生のおそれのある従事員について行われるもので、それぞれの業務に対応した特別の健康診断を行うことが必要である。そこで各種の有害作業場勤務職員に対してそれぞれ特殊な検査項目を定めて、診断を行うとともに職業性疾患の発生を未然に防止する措置を講じている。

また運転の安全確保と、職員の傷害事故防止の立場からする、従事員の標準体位の確保についてもゆるがせにできない問題であるので、運転関係従事員の視器・聴器・心臓疾患・血清梅毒反応検査については、運転考査規程の一環として厳格な検査を施行している。（松村 孝）

げんざいしゃ 現在車 ある時限（現在は6時の時限を採用している）において、貨車運用上現在する貨車。

現在車に混同されやすいものに国鉄保有貨車がある。これを区別する意味から前者を報告面現在車、後者を台帳面現在車と呼ぶことがある。報告面現在車と台帳面現在車の異なる点は、**台帳面現在車**は国鉄所属貨車の全車数であって、報告面現在車は、国鉄所属貨車のほかに、6時現在で国鉄線内にある社車・私有貨車および**営業用借入車**（施設所属貨車、施設工事用貨車を一時営業用に使用するため借入れたもの）が含まれており、つぎのような貨車は除外されている。（1）社線内に入込んでいる国鉄所属貨車（2）緩急車・雪かき車・検重車・試験車等の事業用貨車（3）施設所属貨車・施設工事用貨車（4）水運車、甲種の鉄道車両。

昭和31年度末の台帳面現在車は107,157両で、同日の報告面現在車は104,343両であった。

現在車は所属箇所、運用の状態、使用の能否によってつぎのように分類される。

所在箇所による分類	- 構内現在車 - 列車現在車
運用の状態による分類	- 運用車 - 発送整備車 - 停泊車 - 修繕車
使用の能否による分類	- 有効現在車または運用現在車 - 停泊車 - 管内行発送整備車 - その他 - 修繕車 - 管外行発送整備車

運用現在車に管外行発送整備車および修繕車を加えたものを**総現在車**または**基本現在車**ともいう。

1 構内現在車

駅構内にあって、列車に連結されていない貨車を構内現在車という。発送準備が完了していても列車に連結していないもの、停泊車、駅構内にある修繕車、工場・機関区・客貨車区にある

修繕車・仕立検査車・修繕または仕立検査待合中のもの等は構内現在車である。

2 列車現在車

列車に連結されている貨車をいうのである。列車現在車は6時現在の列車ごとに鉄道管理局が報告する駅を指定して行い、その駅では自駅の現在車に加算して報告するものである。

3 運用車

管内で運用できる貨車を運用車といい、現在車のうちから修繕車と管外行の発送整備車を除外したものである。運用車はこれを使用可能車ということもある。

4 修繕車

工場・機関区・客貨車区等で現に修繕中のもの、修繕のために待合中のもの、修繕のため回送途中のもの、試運転中のものを修繕車という。

5 有効現在車

発送整備車は管内行のものと管外行のものに区分される。運用車から管外行の発送整備車をひいたものを有効現在車または**運用現在車**という。これは管内の広狭によっても異なるが原則として当日中に貨物積に使用できるものなので、当日運用できる貨車すなわち使用できる貨車、さらに使用に有効な貨車という意味でこのように呼称しているものである。

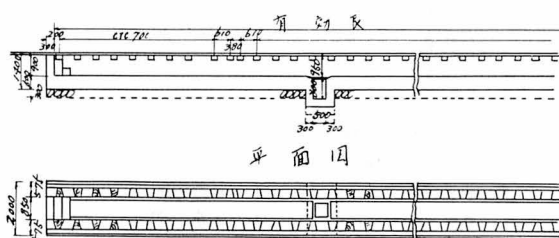
現在車は貨車運用の基礎資料であり、現在車報告によって貨車の地帯的分布状態を知り、発送整備車の所在を確かめ、貨車の移動方向、運用車の現在状況を把握するのである。この報告にもとづいて本社では現在車を常に公平に、また貨車の流動を注視して能率的に運用できるよう全国の貨車分布を調整するのである。以上のように現在車の報告は貨車運用上最も重要なものなので、本社・支社・鉄道管理局では毎日推定現在車を算出して、報告の正否を確かめる資料としている。

推定現在車は支社・鉄道管理局においては、前日6時から当日6時までに管区または鉄道管理局分界駅の出入車数の差引と、所管内の社線の出入車数の差引とを、前日6時報告の現在車合計に加減し、本社は社線出入車数の差引を前日の現在車合計に加減して算出しているもので、当日の現在車合計とは一致するものである。

なお現在車は使用車と対比して貨車運用効率を算定し、常に貨車運用の良否を観察し、輸送力の配分や長期計画の資料とするものである。（佐藤 章）

けんさこう 検査坑 (英) inspection pit 交番・仕業検査線、洗缶(せんかん)線等に設けられ、車両下部の検査・給油等を行うため、自由な姿勢で作業し得るような幅と深さを持つ軌間内に設けられた坑。

1. 検査坑



単に検査のみでなく簡易な小修繕にも利用され、一般に検査坑と修繕坑とは判然と区別せず共用し、双方を含めて検査坑と称する場合が多い。構造は灰坑と同じにして形状寸法は蒸気機関車用の内坑のみの一般型と、電気機関車・電車・気動車のよ